

2022年度 小委員会活動成果報告

(2023年2月7日作成)

| | | |
|------------------------------|--|------------------------------|
| 小委員会名 | CA 技術小委員会 | 主 査 名：井上 文宏 就任年月：2021年4月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 材料施工委員会 (建築生産運営委員会) | 委員長名：橘高 義典 主 査 名：石田 航星 |
| 設 置 期 間 | 2021年4月 ～ 2025年3月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>建築生産の生産性向上に資する自動化技術、システム技術などのコンストラクションオートメーション (CA) 技術の研究開発を啓蒙・促進するための調査研究及び技術交流等の活動を行う。具体的活動の内容は、以下のとおりである。</p> <p>①シンポジウムの企画・開催、②ワークショップの企画・開催、③WGにおける調査研究、④関連国内外における諸団体との交流、共同活動(国際会議共催)</p> <p>初年度：第23回建築の自動化技術シンポジウム (2022年2月25日) 2年度：「第13回ワークショップ」の企画・開催 (2022年3月6日) 3年度：「第24回建築の自動化技術シンポジウム」企画・開催(2023年度予定) 4年度：「第14回ワークショップ」の企画・開催 (2024年度予定)</p> | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：無 | |
| | <p>主査：井上 文宏 (湘南工科大学) 幹事：中村 聡 (東急建設)、深瀬 勇太郎 (清水建設) 委員：神山 和人 (竹中工務店)、椎名 國雄 (東海大学)、鈴木 信也 (戸田建設)、関原 弦 (フジタ)、中村 隆寛 (鹿島建設)、中村 洋祐 (大成建設)、成瀬 忠 (前田建設)、仁田 佳宏 (足利大学)、浜田 耕史 (大林組)、眞方山 美穂 (建築研究所)</p> | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | <p>次世代建築施工ロボット調査 WG</p> <p>目的：近年，建築現場では労働力不足や作業員の高齢化が大きな課題になり、作業のロボット化や自動化、ICTによる効率化や省力化への期待は大きい。本 WG では建築施工に関わるロボットや ICT を対象に各種の調査を行い、実際の施工現場で有効となる指針や提言を行うこと目的とする。</p> | |
| 2022年度予算 | 20,000 円 | ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無 |

| 項 目 | 自己評価 |
|---|--|
| 委員会開催数 | 10回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画 | 第13回ワークショップ「建築 DX を踏まえた建設ロボットの現状と将来構想」 参加者数 82名 |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | <p>1. 第20回建設ロボットシンポジウムの開催 (協賛)</p> <p>2. 第13回ワークショップ「建築 DX を踏まえた建設ロボットの現状と将来構想」開催</p> <p>2件のイベント開催は当初計画の通り達成された (達成度：100%)</p> |
| 委員会活動の問題点 ・課題 | |